

## 1. この事業に取り組んだ背景

- ・市町村合併、市街化調整区域指定に伴い過疎化が進み、町の存続の危機
- ・蓮池藩政時代から歴史と文化の薫る城下町であり、現存している伝統文化や歴史資源を掘り起し、町の将来を担う子ども達を中心に伝承していく。

## 2. 事業の目的・目指した成果

- ・町内の世代間交流、関係団体との新たなネットワークづくりにより、事業への参加者を増やし地域活動へ繋げる。
- ・町内に残る歴史や文化を次世代へ伝え、郷土への関心や愛着を高め、過疎化に歯止めをかけていく。
- ・地域資源の活用と観光化により、まちの活性化を図る。

## 3. 事業の概要

- ・関係機関のネットワーク化  
町内の各種団体、佐賀県、佐賀市の関係機関との連携
- ・歴史資源の調査、整備と活用  
史跡散策マップ、蓮池公園ガイドブック・DVD、郷土史本の作成と活用
- ・地域文化の伝承  
郷土学、古文書講座の開催、観月会、鼓の胴の松飾り教室等伝承文化体験講座の開催
- ・地域資源の観光化  
まちの駅「売茶翁の駅」の開催等



## 5. 得られた成果

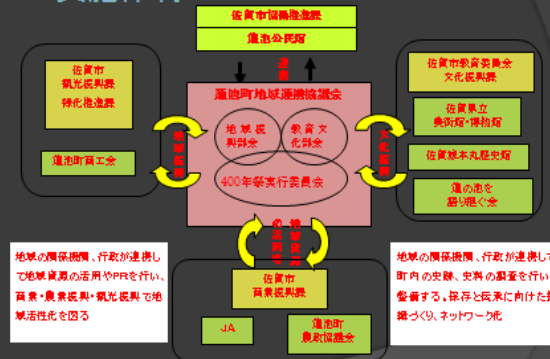
- ・「鼓の胴の松飾り」を通して佐賀城本丸歴史館との繋がり、編集委員会の郷土史本の作製過程、古文書講座の開催での県立博物館学芸員との交流が進んだ。その他の事業を通して学校や町内各種団体との連携が強まり、町民同士のより深い関係が構築できた。
- ・地域行事や地域活動に参加する住民の数が増加し、町に活気が出てきた。

## 7. 課題・今後の展開

- ・蓮池町地域連携協議会と蓮池公民館と協働推進課の連携強化
- ・成果物(史跡散策マップ、蓮池公園ガイドブック・DVD、紙芝居、郷土史本等)を活用しながら、地域の人材の積極的な登用を図り、町の活性化や発展に結び付けていく。
- ・予算の面から、27年開催予定であった「初代蓮池藩主 鍋島直澄公生誕400年祭」をはじめ事業の大幅な見直しを図る。

## 4. 事業実施体制図

### 1 支援プログラム実施に向けた組織づくり、関係機関のネットワーク化 実施体制



※それぞれの取り組みをリンクさせ、地域活動の好循環を生み出し、地域活性化につなげる